

Q1 たたき台1・2における保育園の仮設園舎について、線路の南側に住んでいる利用者は、朝の時間帯に開きづらい踏切を渡ることになるが、どう考えているのか。

A1 新規の入園希望者に対しては、事前に仮設園舎の利用期間や場所を入園のお知らせ等で周知し、入園希望者が各家庭の事情に応じて適切に保育園を選ぶようにしていきます。
また、在園している園児に影響が生じないよう、仮設園舎への移転は在園児が卒園した後の令和13(2031)年度以降を予定しています。
なお、引き続き、より適切な用地がないか探していきます。

Q2 各たたき台で整備する施設の規模や集会室の数を教えてください。

A2 各たたき台に共通することとして、保育園や図書館は現在の基準に合わせてエレベーターの設置などバリアフリー対応を図る必要があることなどから延床面積が大きくなります。
一方で、たたき台2・3において、ゆうゆう館と区民集会所ではなく、コミュニティふらっとを整備する場合は、ラウンジやトイレなどを別々に設置する必要がないことから延床面積を小さくできる可能性があります。
また、たたき台3では、図書館と集会施設を合築するため、両施設のラウンジやトイレなどに加えて、集会施設の多目的室と図書館の講座室を共有することでさらに延床面積を小さくできる可能性があります。
集会室については、現在の利用状況等を踏まえた上で、必要な数を検討していきますが、たたき台ごとの差異は生じない想定です。

令和8(2026)年度以降のスケジュールについて

令和8年度(2026年度) **ワークショップを通じて作成した更新方法(たたき台)に関する意見聴取**

- オープンハウス等を開催し、ワークショップに参加していない方からもご意見を伺います。
- ご意見を踏まえた上で、更新方法(案)を作成します。

更新方法の決定(施設マネジメント計画の改定)

- 更新方法(案)を反映した計画(案)についてパブリックコメント等を実施し、区民のご意見を伺います。

令和9年度~(2027年度) **決定した更新方法に基づく取組の実施(設計・工事等)**

ワークショップにご協力いただき、誠にありがとうございました。

■発行 杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当
☎03-5307-0348

ワークショップニュース

柿木図書館等の更新について

老朽化が進んでいる柿木図書館やその周辺施設をどのように更新していくかについて、区民の皆さんと一緒に考えるためのワークショップを開催しました。
今回は、3月28日に開催した第4回のワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップで配布した資料等は、**区ホームページ(右2次元コード)**に掲載しています。



- ワークショップの日程等
 - 第1回(8/31) 対象施設を知ろう
 - 第2回(11/1) 課題解決に向けた取組を考えよう
 - 第3回(1/24) 更新方法(たたき台)について検討しよう
 - 第4回(3/28) 検討を深め、複数の更新方法(たたき台)を比較してみよう
- 対象施設の課題等を整理し、複数の更新方法(たたき台)を作成!

第4回の主な内容

STEP 1 区からの情報提供

- 第3回での主な質問に対する回答
- 令和8(2026)年度以降のスケジュール
- たたき台の比較表について



STEP 2 グループワーク




- 更新方法(たたき台)について検討を深め、メリットやデメリットを比較しよう

中面で詳しくご紹介します

比較表（抜粋）

- ：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの
- ◎：現状より向上するもの
- ：すべてのたたき台に共通するもの

※たたき台2・3の集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられる。

	たたき台1	たたき台2	たたき台3
	区民集会所は改築せず、保育園・ゆうゆう館、図書館を現地改築する案 	保育園と集会施設を合築し、図書館を現地改築する案 	保育園と図書館の配置を入れ替え、図書館と集会施設を合築する案 
“取組への期待”	“取組への期待”を達成できているかを確認するための視点		
(1)様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる	○	◎	◎
(2)気軽に立ち寄り、落ち着いて過ごせる	○	◎	○
(3)安全安心の確保	○	◎	◎
(4)子どもがのびのびと育つ	○	◎	○
(5)高齢者の活動場の確保	○	○	○
(6)地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和	影響（小）	影響（小）	影響（大）
(7)土地・建物の有効活用	○	◎	◎

主なご意見

“取組への期待”（1）について、たたき台2・3では、地域住民が交流できるスペースがこれまで以上に確保できる点が良い。

“取組への期待”（2）について、施設内のゾーニングを工夫することで、たたき台3における音の懸念は解消できるのではないか。

“取組への期待”（4）について、保育園と高齢者の交流は、ゆうゆう館に限らず、老人ホームなど近隣の施設にも広げるべきだと思う。

“取組への期待”（5）について、ゆうゆう館を整備する場合とコミュニティふらっとを整備する場合で、評価が異なるのではないかと。

“取組への期待”（6）について、図書館と敷地内にある樹木は一体的に捉えるべきだと思う。図書館が移転して樹木だけ残ってもシンボル性は継承できないと思う。

“取組への期待”（7）について、区民集会所を20年後に改築することになるのなら、存置せず、周辺施設と一緒に更新した方がよい。